



「断らない相談窓口」の設置を!

丹生 眞人

市民から受ける相談の中には、いわゆるゴミ屋敷の問題や、8050問題、ダブルケアの問題など、市に相談する場合に、原因が複雑で1つの部署だけでは解決できないケースがある。

本市において、複合的な生活課題を、まず一旦受け止めて対応する「断らない相談窓口」を早期に設置すべきではないか? それに伴う組織改編は考えているのか? 相談の対象は何が考えられるのか?

答弁

「断らない相談窓口」について、関係する分野がより積極的・機能的に連携し得るよう組織改編を図ることと合わせ、検討する。

相談の対象は、生活困窮、高齢者、障がい者・児、ダブルケア、多重債務、ひきこもり等、何らかの支援が必要な方を想定する。

また、相談者に寄り添う伴走型の支援やアウトリーチ(訪問支援)の機能も必要であり、検討していく。



令和2年度予算要望を行いました!



昨年11月11日、会派として、市長に対し、「令和2年度枚方市予算編成に関する要望書」を提出しました。

日頃、市民の皆様から実施のご要望を頂いている取り組みや、将来の枚方市に必要と考える取り組みなど、8分野・66項目にわたって政策要望をさせて頂きました。



本市独自!

第2子以降の保育料等が無償化へ!

本市では、子育て世代への負担軽減のため、令和2年4月から、年齢制限・所得制限を撤廃した、本市独自の第2子以降の保育料無償化を実施します。

(副食費も免除されます)



にふまこと 第22号 2020年2月発行 タウン★レポート

ごあいさつ

平素より、市政に対する御意見・御要望を賜り、誠にありがとうございます。

今年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、本市でも聖火リレーが通過する事が決まっています。

またとないこの機会を捉え、本市のさらなる賑わいや活性化を実現できる様、皆様の生活現場から頂く、「小さな声」をお聞きしながら、この1年も、しっかりと取り組んでいく決意です。

枚方市議会議員 丹生真人



議
会
役
職

- ・文教常任委員会 委員長
- ・枚方市病院事業運営審議委員会 委員長
- ・議会改革懇話会 座長
- ・議会報編集委員会 委員



連
絡
先

- ・住 所 枚方市上島町2-20-901
- ・E-Mail makayo@nike.eonet.ne.jp
- ・H P <https://nifu.hirakata-komei.jp/>

代表質問を行いました!



(9月定例会月議会)

9月の市長選挙において、伏見市長が再選され、9月定例会月議会初日の9月30日、市長の所信表明が行われました。

私は、公明党議員団を代表し、この所信表明に対して、25項目に渡る質問をさせていただきました。

中学生全員にタブレットPCの導入を

これまで、我が会派は、中学生全員に一人一台のタブレットPCの整備が必要と市長に要望してきた。

今回、一人一台の整備の方針を示した事は評価する。

今後、どのように整備を進めていくのか? 児童生徒・教員はICT機器をどのように活用していくのか?

本市では、国が最終的に求める水準として提示している、一人一台の整備に向けて、段階的に取り組んでいく。

授業では教員から児童生徒に情報を一斉に提示し互いの考えを可視化する、双方向性を持たせるためのツールとしての活用や、グループで取り組む協働学習を深めるためのツールとして活用していく。

教員のICTを活用した指導力の向上や授業改善を図ることで、児童・生徒一人ひとりへの教育的効果が十分に発揮できるようにしていく。

丹生質問

市長答弁

地区防災計画～学校体育館にエアコンの整備を～

丹生質問

「地区防災計画の策定支援を進める」とのことだが、計画の内容と効果は?

また、計画策定の支援を円滑に進めるための工夫が必要ではないか?

市長答弁

計画は、地域特性や災害リスクに応じた平常時・災害時の取り組みを地域住民が自ら定めるもので、策定過程で議論を重ねることで、共助の力を高められることが、大きな効果の一つと考える。

策定を検討する校区に対し、地域会合等へ職員が出向き助言や情報提供するとともに、地域防災の有識者の知見も活用し、支援を行っていく。

丹生質問

今後、避難所を核とした実践的な取り組みが展開されると考えるが、私がこれまで要望してきた、第1次避難所となる学校体育館へのエアコン設置について、見解を聞く。

市長答弁

学校体育館については、子どもの熱中症対策の観点からも対策を講じる必要があると考える。

今後、国等の補助金活用を含めた財源確保策、設置手法や手順等について検討を進める。

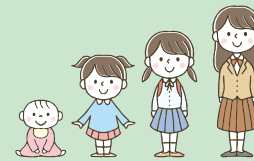


子ども医療費助成18歳まで拡大を要望!

丹生質問

「子ども医療費への支援策の充実について検討」と述べられたが、これは(市長公約の中で)いまだ実現できていない、子ども医療費助成の高校生世代(18歳)までの拡大の事を指すのか?

また、18歳まで拡大するための費用はどれくらいと試算しているのか?



市長答弁

財源の確保に努め、18歳までの拡大を含め、子育て世代への医療費にかかる施策について検討する。

継続費用として年間約2億1千万円、初期費用として約3千万円が必要と見込む。

丹生要望

確かに多額の費用となるが、現在の15歳までの助成が一定の年数経過したこと、近隣市で18歳までの助成が広がっていること、市民の要望が多いことなどからも、市長の今任期において、子ども医療費助成を18歳まで拡大する事を強く要望する。

